

---

# 第 11 回 1-DreaM 岡山 感染防止対策ガイドライン

---

2023 年 1 月 22 日 開催

# 内容

企画・運営にかかる感染防止対策.....	4
総論.....	4
身体的距離の確保.....	4
マスク着用.....	4
手指衛生.....	5
会場内の換気.....	5
ステージにおける衛生の促進.....	5
受付.....	5
休憩スペース.....	6
トイレ.....	6
清掃・ゴミの廃棄.....	6
参加者に対する感染防止対策.....	7
患者会前の対策.....	7
患者会当日の対策.....	7
患者会後の対策.....	8
参加者の管理.....	8
参加者に感染が疑われる者が発生した場合.....	8
患者会関係者に対する感染防止対策.....	9
患者会前の対策.....	9
患者会当日の対策.....	9

患者会関係者の管理 .....	9
患者会関係者に感染が疑われる者が発生した場合 .....	10
患者会前後の関連イベントにおける感染防止対策.....	10
感染防止対策の公表 .....	10
感染防止チェックリスト .....	11
問診票 .....	13
参考資料 .....	14

# 企画・運営にかかる感染防止対策

## 総論

接触感染や飛沫感染を防止するため、消毒や換気の徹底、マスク着用、会話の抑制等、複合的な感染防止対策の実施に努めます。

## 身体的距離の確保

参加者及び患者会関係者が原則として身体的距離（1 m以上）を確保し、密集を回避する方策や密な状況を発生させないようにします。また、距離の確保が困難な場合、パーティション、フェイスシールド等の措置を講じます。

（参加者の身体的距離の確保）

- ① 鹿田会館・講堂の施設基準である定員80名に従います。
- ② 大声を発しない顧問挨拶、医療者からの情報提供、患者さんの体験談は、前後左右1席（立席の場合1 m）空けることとします。
- ③ 演者、登壇者が発声する場合には、舞台から観客の間隔を2 m確保します。
- ④ 室内等でマスクを着用している場合であっても、会話を短く切り上げる等の対応が望ましい旨を周知します。

（患者会関係者の身体的距離の確保）

- ① 登壇者が、登壇中も原則として身体的距離（1 m以上）を確保できるよう、立ち位置や座席の位置を工夫します。
- ② 原則として身体的距離（1 m以上）が確保できるよう、患者会関係者の人数を必要最小限に限定します。

## マスク着用

- ① 正しいマスクの着用について施設内で掲示等を行い周知します。

- ② マスクを持参していない人へは、マスクの配布を行います。
- ③ 原則として常時マスクを着用します。
- ④ 会場内でマスクを着用していない参加者がいた場合は個別に注意等を行います。

## 手指衛生

- ① アルコール等の手指消毒剤を用意します。
- ② 適切な手指衛生にかかる掲示を行います。
- ③ 参加者にハンカチ等の持参を求めます（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しません。）

## 会場内の換気

適切な空調設備を活用した常時換気又はこまめな換気（1 時間 2 回以上、1 回に 5 分間以上）を徹底します。

## ステージにおける衛生の促進

- ① マイクは使用毎に消毒をします。マイクの使用の前後には、手洗いや手指消毒を行うとともに、使用した機器の消毒を徹底して行います。

## 受付

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置します。
- ② 受付においてマスクの着用状況を確認します。マスクを持参していない場合には主催者側で配布し、着用率 100%を担保します。
- ③ 近距離において人と人とが対面する場所は、アクリル板や透明ビニールカーテン等により遮蔽します。
- ④ 受付において、発熱・咳・下痢等の症状がある者、同居家族や身近な知人の感染が疑われる者、過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてい

る国・地域等への渡航並びに当該国・地域等の在住者との濃厚接触がある者（以下「有症状者等」という。）は、参加できない旨の掲示を行います。

- ⑤ WEBでの来場事前登録システムを活用し、予定来場者数を事前に把握します。

## 休憩スペース

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者や患者会関係者の間で適切な身体的距離（1m以上）が確保され、密になることを避けるようにします。
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する人数を制限する等の工夫を行います。
- ③ 室内またはスペース内で、不特定多数の者の手が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒します。
- ④ 常に換気扇を回す、換気用の小窓を開ける等の方法により、換気を行います。（1時間に2回以上、1回に5分以上を目安にする）
- ⑤ 対面での会話を避けるよう促します。

## トイレ

- ① トイレ内の不特定多数の者の手が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒します。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示します。
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオルを用意します。または、参加者にハンカチ等の持参を求めます。（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しません）。

## 清掃・ゴミの廃棄

鼻水、唾液等が付いたゴミは、ビニール袋に入れて口を縛り、密閉します。

清掃やゴミを回収するスタッフは、マスクや手袋を着用します。作業を終えた後は、必ず石鹸と流水で手を洗います。

## 参加者に対する感染防止対策

### 患者会前の対策

感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にし、協力を求めることが必要です。また、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、患者会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知します。申し込み google form に「現地参加の方には感染防止対策のため遵守いただく事項（マスク常時着用、会話を控える、敷地内立ち入り禁止エリアなど）があり、遵守できない場合は参加をご辞退いただく、もしくは途中退場いただくことがあります。詳細については、1月12日にメールにてご連絡いたします。」を記載。

- ① 事前申し込みをされていない方の入場を制限します。
- ② 自宅での検温の実施と、有症状者（発熱又は風邪等の症状）については、入場を制限するとともに患者会開催前にメールにてその内容を明示的に規定し、来場者への周知を徹底します。
- ③ 感染防止のために患者会主催者が講じるその他の対策を遵守し、また、患者会主催者の指示に従うことを要請します。

### 患者会当日の対策

- ① 参加者には別添の問診票を記載いただき、紙媒体で持参いただきます。

問診票 2-④ 岡山県以外の都道府県に関して

岡山大学病院 HP より、2022年10月6日現在の重点警戒地域は海外各国のため、過去7日以内の海外渡航者は参加不可、他県は可とする。

- ② 周知・広報

- ・患者会主催者は参加者に対し、以下について周知・広報を行います。
  - ・咳エチケット、マスク着用、手洗いの徹底
  - ・原則として身体的距離（1 m以上）を確保するよう努めることの徹底
- ③ 有症状者等は参加しないよう要請します。
  - ④ 入場整列時に、参加者が距離をとって並べるよう、目印等の設置を行います。
  - ⑤ 大声を出さないように施設内で掲示等を行うなど、啓発徹底を行います。大声を出す者がいた場合、個別に注意等を行います。

※マスクの着用を前提として、隣席の者との日常会話程度は可とする。

## 患者会後の対策

感染可能期間が発症2日前～発症7-10日とされているため、患者会から3日間以内（1月25日まで）にCOVID-19を発症した場合は、速やかに事務局（1dreamokadai@gmail.com）までご連絡いただく。

## 参加者の管理

患者会主催者は、参加者リストも活用し、参加者の氏名、年齢、連絡先（電話番号）を把握し、名簿を作成します。名簿は当面の間、1ヶ月以上保管します。

参加者に対しては、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知するとともに、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講ずることとします。

## 参加者に感染が疑われる者が発生した場合

- ① 感染が疑われる者が発生した場合、速やかにマスクを着用させた上で隔離等を行い、人との接触をできる限り避けます。必要に応じて直ちに帰宅させ、自宅待機とします。

- ② 対応するスタッフは、マスクやフェイスシールド、手袋の着用を徹底します。また、対応の前後に、手洗いや手指消毒を徹底します。
- ③ 保健所の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。

## 患者会関係者に対する感染防止対策

### 患者会前の対策

現場の対応方針を、スタッフに対し周知徹底を図ります。

### 患者会当日の対策

1. スタッフも別添の問診票を記載し、紙媒体で持参します。
2. 周知・広報
  - ・咳エチケット、マスク着用、手洗いの徹底
  - ・原則として身体的距離（1 m以上）を確保するよう努めることの徹底
3. 関係者の健康管理と衛生の促進
  - ・ 有症状者等は参加しないよう要請します。
  - ・ 関係者入口や控室等にアルコール手指消毒剤を設置し、手指消毒を奨励します。
  - ・ ドアノブ、手すり等の関係者の手が触れる可能性がある設備及び共有する機器に関しては、頻繁な清拭消毒を行うものとします。
  - ・ 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにします。

### 患者会関係者の管理

主催者は、患者会関係者の氏名、年齢、連絡先（電話番号）を把握し、名簿を作成します。名簿は当面の間、1ヶ月以上保管します。患者会関係者に対しては、

こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知するとともに、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じます。

## 患者会関係者に感染が疑われる者が発生した場合

参加者に感染が疑われる者が発生した場合と同様の対応とする。

## 患者会前後の関連イベントにおける感染防止対策

患者会に参加する個人は、患者会前後のリハーサルやミーティングや懇親会等においても、感染防止に十分に配慮することが求められます。

### ① 交通機関や飲食店等の分散利用

※可能な限り、予約システム等の活用により分散利用を促進

### ② 感染防止対策を施した飲食店の利用を推奨

## 感染防止対策の公表

岡山大学病院糖尿病内科において、岡山県の新型コロナウイルス感染症対策室（[イベント開催時における感染防止対策について - 岡山県ホームページ（新型コロナウイルス感染症対策室）（pref.okayama.jp）](#)）感染防止チェックリストをHPで公表することとします

# 感染防止チェックリスト

様式 5

## 感染防止策チェックリスト

令和 4年 11月 23日

### 1.開催概要

イベントの名称	第 11 回 1-DreaM 岡山 1 型糖尿病患者会		
開催案内等のURL	別紙参照		
出演者名 チーム名等	1 型糖尿病の患者さん、友人、家族、医療従事者 ※この表に書ききれない場合は、別途一覧を掲示すること		
開催日時	令和 5 年 1 月 22 日 ( 14 時 00 分 ~ 15 時 55 分) ※複数日開催の場合は、別途開催日一覧を掲示すること		
イベント主催者	岡山大学腎免疫内分泌代謝内科学 ※団体・法人の場合は団体名・法人名を記入すること		
	代表者	和田 淳	
	住所	〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1	
	連絡先	電話番号	メールアドレス
			1dreamokadai@gmail.com
会場名	旧生化学講堂	所在地	岡山大学鹿田
会場の収容率	大声なしで開催		
	<収容定員あり>		<収容定員なし>
	<input checked="" type="checkbox"/> 定員の100%以内 (大声なし)	定員数 80人	<input type="checkbox"/> 人と人とが触れ合わない間隔
	大声ありで開催		
	<収容定員あり>		<収容定員なし>
<input type="checkbox"/> 定員の50%以内 (大声あり)	定員数 人	<input type="checkbox"/> 十分な人と人との間隔(最低 1m)	
「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催			
<収容定員あり>		<収容定員なし>	
<input type="checkbox"/> 大声なしのエリア (収容率100%)	定員数 人	<input type="checkbox"/> 人と人が触れ合わない程度の感覚 ・大声ありのエリア 十分な人と人との間隔(最低 1m)	
<input type="checkbox"/> 大声ありのエリア (収容率50%)	定員数 人		
参加人数	80名		
その他特記事項	グループディスカッション以外の時間帯は演者のみマイク使用し発言予定。グループディスカッションでは発言者もマスクを着用し、大きな声を出さずにも聞こえるように各グループの距離を保つ。 「大声なし」を選択した場合、その判断理由や具体的な対策を記載		

(注)参加人数が5,000人超かつ収容率50%超(収容率がない場合や、まん延防止措置、緊急事態措置の適用区域の場合は5,000人超)のイベントは、「感染防止安全計画」(様式4)を岡山県に提出すること

【補足】大声の定義は、「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これに対する対策

を施さないイベントは「大声あり」に該当する

## 2. 基本的な感染防止(1/2)

開催にあたっては、以下の項目を満たしてください

### (1) イベント参加者の感染対策

#### ア 感染経路に応じた感染対策

①	飛沫感染対策	<p>適切なマスク(不織布マスクを推奨。以下同じ。)の正しい着用の周知・徹底</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ※適切なマスクの正しい着用については、厚生労働省ホームページ「マスクの着用について」を参照。なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。</p>
		<p>イベント会場(客席、入退場口やトイレ等の共用部)におけるイベント参加者間の適切な距離の確保</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ※大声を伴わない場合は、人と人が触れ合わない間隔。その際、主催者や出演者等から参加者等に対して大声を出さないことを適切に周知すること。大声を伴う可能性がある場合は、前後左右の座席との身体的距離の確保(座席間は1席(座席がない場合は最低1m)空ける)</p> <p>※大声の定義は、前頁の【補足】を参照</p>
		<p><u>「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合、上記対策に加えて、次の対策を実施すること。</u></p>
		<p><input type="checkbox"/> 大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおける、イベント参加者間の適切な距離の確保</p> <p><input type="checkbox"/> 大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施</p>
②	エアロゾル感染対策	<p>機械換気による常時換気又は窓開け換気</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ※必要な換気量(一人当たり換気量 30 m<sup>3</sup>/時を目安)を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね 1,000ppm 以下を目安(二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的)</p> <p>※機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で2方向の窓開け</p> <p>※機械換気、窓開け換気ともに、相対湿度の目安は 40-70%</p> <p>※屋外開催は除く</p>
		<p><input checked="" type="checkbox"/> 適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】</p>
		<p><input checked="" type="checkbox"/> イベント会場(客席、入退場口やトイレ等の共用部)におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】</p>



## 参考資料

- ① 【内閣官房 Hp】業種ごとの感染拡大予防ガイドライン一覧 ([業種別ガイドライン | 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室 \(corona.go.jp\)](#))

カンファレンス開催ガイドライン

祭り・イベント等開催に向けた 感染拡大防止ガイドライン

- ② 岡山県ホームページ（イベント開催時における感染防止対策について）[イベント開催時における感染防止対策について - 岡山県ホームページ（新型コロナウイルス感染症対策室） \(pref.okayama.jp\)](#)

- ③ 新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第 8.1 版